

遠藤ひろし

県政発展と地域振興

県議会報告

25年
11月
定例会報告
第1号



いあいさつ

市川三郷町にお住いの皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、先の県議補選後初となる11月定例会を終え、あらためて責任の重大さを痛感いたしました。当選から、証書付与、会派への所属、委員会への配属などめまぐるしい日々ではございましたが、市川三郷町議会での実績を踏

まえ滞りなく過ごさせていただきました。また、平成25年11月29日に開会した定例会では、初日にご挨拶をさせて頂く機会を得、登壇いたしました。

「県政発展と地域振興」を信条として、山紫水明・歴史と伝統文化を誇る市川三郷町の個性を活かせるような議員活動を進めてまいりますので、今後ともご指導のほどお願い申し上げます。

初の本議会でご挨拶する遠藤ひろし(H25.11.29 県議会議事堂)



リニアの時代

遠藤ひろし

県政発展と地域振興



●新しい時代へ

中央リニア新幹線は、時速500kmの速さで東京と大阪を結ぶ世界最速の輸送手段です。2027年には、東京・名古屋間286kmを先行開業し40分で結ぶ計画です。山梨県にリニア新幹線の駅が開設されれば、新たな交流が生まれビジネスやレジャーの幅が広がり本県活力の向上に大きく貢献することでしょう。

新しい時代に向け、国家級の大プロジェクトをどう活用していくのか、後世にどう引き継いでいくのか議論すべき時だと思っています。

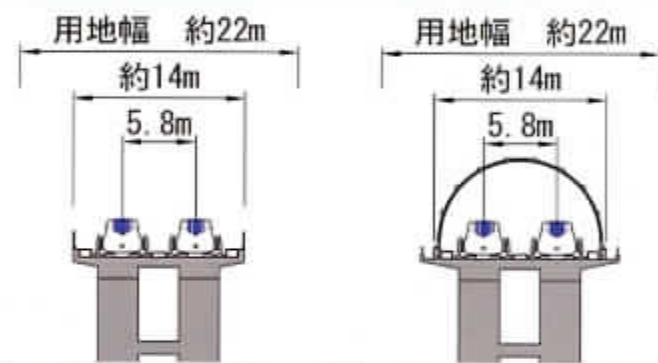
市川三郷町と駅とのアクセス整備や資源としての活用など幅広い地域づくりが求められ、可能性も広大だと思います。遠藤ひろしは、新しい時代に向け情報収集とアイデアで「県政発展と地域振興」に取り組みます。

●あかり区間

中央リニア新幹線は、起点である地下40mの東京品川駅から名古屋まで、ほとんどが地下トンネルを走ります。地上を走る「あかり区間」は、わずかですがその大部分は甲府盆地です。市川三郷町大塚地区の丘陵地からの眺めは、「あかり区間」の大部分が眺望できる絶景地として期待されます。



●見える化は



中央リニア新幹線が快走する雄姿を見たい。あるいは、観光資源としたいとする提言がある一方、騒音や安全に対する対応から、コンクリートフード設置の可能性もあります。

フードを設置した場合、素材や施工上の問題も見える化は困難です。防音壁だけの場合は、車窓から上の部分を見る事ができます。

●東京オリンピック



第32回夏季オリンピックの開催は2020年、東京と決まりました。開催地が決定すると、徐々に海外からの観光客が増える事から観光パブルの様相を呈してきました。

オリンピックに照準を合わせたリニア運行の期待も高まります。しかし、工事の規模の大きさから「物理的に無理」(JR東海)としていて一部区間先行運行も不可能な様子です。となれば、2020年までに、リニアが走っているのは山梨県内だけという可能性もあり観光資源としての有効活用が求められます。山紫水明・歴史と伝統文化の市川三郷町が世界から注目されるよう取り組みます。

○会派への所属

自民党・県民クラブ

議会活動を円滑に進めるために会派を結成することができず。会派では、議論や研修などを通じて課題と向き合い適正な判断をしていきます。県政与党最大会派である「自民党・県民クラブ」への所属は、**遠藤ひろし**の議員活動と議会活動を十分発揮できる場だと考えています。



自民党・県民クラブ



総務委員会の審議

○委員会への配属

総務委員会

県議会には、委員会が設置され負託された議案を分野ごとに審議します。総務委員会では、知事政策・企画県民・リニア・警察・総務など多岐にわたります。今議会では、施設の指定管理者選定を中心に審議しました。

○県議会の姿

県議会議員は、38人で17の選挙区に分かれて選出されます。議員の平均年齢は59.6歳です。**遠藤ひろし**51歳は、38人中7番目の若さですが、55歳以下が15人と4割を占めます。また、当選回数1回の議員は14人で、活動しやすい環境です。



お知らせ

- 市川大門1568-1に事務所を開設いたしました。お気軽にお寄り下さい。
- 26年1月18日(土)18:00より、JA西八代本店2階会議室において、**遠藤ひろし**活動報告会を行います。

☎ 055-272-0330